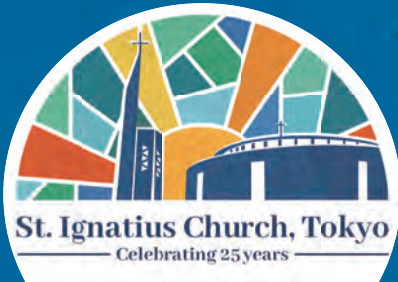


6月

カトリック麹町教会

MAGIS



St. Ignatius Church, Tokyo
Celebrating 25 years

マジス = 「より、もっと、さらに」

教会テーマ

さあ出かけよう 心をつないで イエスとともに
～ともに重ねた25年の喜びのうちに 聖霊の導く未来へ～

国境のない宣教師として

御聖体の宣教クララ修道会 シスター マルセラ・ロサス

初めまして、セントロ・ロヨラのそんなに新しくないシスターです。よろしくお願ひ致します。

私はシスターマルセラ・ロサス・モラレスと申します。メキシコのプエブラと言う素敵な市に生まれました。7人兄弟の3番目です。私がここまで堅忍できたのは確かに親、兄弟、家族、友人の愛と祈りのおかげだと信じて、深く感謝しています。

ふさわしくない者なのに、主イエスが呼んでくださり、2つの素晴らしいプレゼントを下さいました。それは修道召命と日本の宣教女の司祭です。今はメキシコ市の Sograda Familia 教会の主任司祭として働いています。



▼ 福音者 マリア・イネス・テレサ・アリアス

宣教地として最初に働いたのは群馬県で8年間でした。その後、長野県の南信州、飯田と言う美しい市で身も心も豊かになった9年間を過ごしました。その後、東京修道院でいろいろな奉仕をしていました。

「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたがたを選んだ。あなたがたが出て行って実を結び、その実が残るように」と(ヨハネ15:16)

「すべての人があなた(神)を知り、愛しますように! それ私の唯一の望みです」(御聖体の宣教クララ修道会創立者のことば)

私たちが生きている困難な時代において、神さまが存在していること、またその神さまにとっても愛されていることも知らないで絶望感に陥る人が非常に多いです。日本でそのことを一分でも早く知らせなければならぬと思います! 皆が孤独ではない! 社会のあらゆるところにイエスの良い知らせ(福音)を告げねばならぬと思います! おそらくそのために私が日本に派遣されたと思えます。

「ところで、信じたことのない方を、どうして呼び求められよう。聞いたことのない方を、どうして信じられよう。また、宣べ伝える人がなければ、どうして聞くことができよう。遣わされないうとして宣べ伝えることができよう」(ローマ10:14~15)

神さまは慈しみ深く愛そのものです。私のうえに数知れない恵みを注いで下さいました。皆さんもイエスのその深い愛を味わうことが出来れば、嬉しく思います。皆さんの心にある永遠への渇きは、他のもので満たすことができないとわかっていただければ幸いです。

私は創立者のように国境のない宣教師になりたいです。そして、彼女が言っていたように最後まで自分の人生を愛と感謝の賛歌になるように願っています。

「主よ、私があなたの愛を皆に知らせる道具としてください!」
神さまからこの愛する聖イグナチオ教会で、セントロ・ロヨラの大切な奉仕を頼まれるとは全く考えていなかった。でも、本当のことを言えばとても嬉しいです。心から感謝し、責任の重さを感じます。マリアさまが導いて、助けてくださるように、そして私ができることを補ってください。それと同時に皆さまのご理解、ご協力とお祈りからお願い致します。

教会報 MAGIS 6月号

- † 現聖堂 25周年記念企画「春の巡礼—下五島の信仰に触れる旅」 P2~3
- † 教会行事報告 P4
- † イグナチオのラジオ「イグナチオ」開局! P5
- † Family of St. Ignatius ~ベトナム共同体から~ P6

【6月の共同祈願】

イエスのみ心の月にあたって祈ります。
さめた心ではなく、
愛の心に燃える
イエスに倣って、
これからも生きることができますように。

【ミッション2030 -前文-】

私たち聖イグナチオ教会は、
祈りに基づく使徒的共同体を生きていきます。
現代の社会は、命の軽視や孤独、過度の競争原理や格差、
環境破壊など、未来に希望を見出しにくい
反福音的なものに脅かされています。
それに対して、私たちは自分たちの殻に閉じこもることなく、
いつくしみの扉を開いていきます。
私たちは、同伴者イエス・キリストと心を合わせて、
貧しい人や弱い人の声を聴き、
皆でともに手をたずさえて(日本人も外国人も、若いも若きも)、
福音の喜びを分かち合っていく使命を生きていきます。



現聖堂25周年記念企画―春の巡礼―
下五島の信仰に触れる旅

聖イグナチオ教会主任司祭 高祖敏明

今春の下五島巡礼は、コロナ禍を経て数年ぶりの教会企画であり、現聖堂献堂25周年の記念企画の一つとして実施されました。

その分、参加希望者の期待度が高く、事前学習会を2度も開催しました。ユネスコ世界文化遺産に登録された「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」12構成資産のうち、旧五輪教会堂と江上教会の2カ所を巡る計画でしたので、世界遺産につ

いて学ぶ一方、奈留島で60年ぶりに行われた隠れキリシタンの「お授け(洗礼式)」の動画を鑑賞しました。

4月24日は、午後早く五島に渡り、地元のガイド付きバスで福江島を巡回。水ノ浦教会にてミサを捧げ、季節の花々が飾る十字架の道行をたどり、明治初期の信徒受難の地に設置された日本26聖人の一人、聖ヨハネ五島の石像を仰ぎ、日本最初のルルド・井持浦教会、大瀬崎



▲日本二十六聖人記念館は、レンゾ神父様のご案内で
▶井持浦教会にたずむ日本最古のルルドの
マリアさま



断崖展望台も巡りました。25日は、久賀島の新旧五輪教会、牢屋の窄殉教記念聖堂、浜脇教会、奈留島の江上教会、阿古木の里の浜辺の資料館を順次巡り、うぐいすのさえずりの伴奏で野外ミサを祝いました。この地に整備された阿古木古道を、巡礼の「山場」として踏みしめ、結びは若松島のキリシタン洞窟と、シルエットになった夕

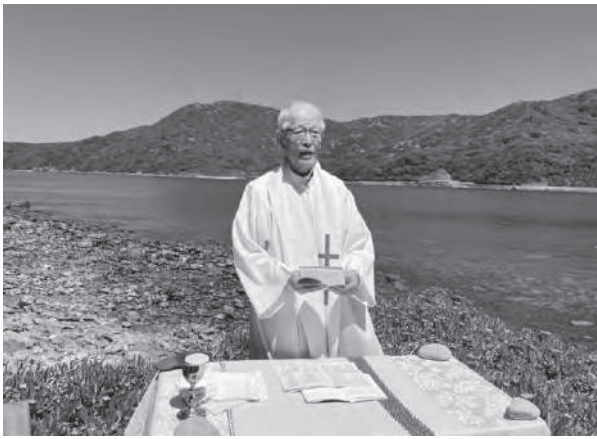
<下五島巡礼 旅程>

- 4/24(水) 羽田から空路長崎→船で福江島へ
水ノ浦教会でミサ
井持浦教会と日本で最初のルルド大瀬崎断崖展望台
- 4/25(木) 船で奈留島の江上教会へ
新旧五輪教会
久賀島の牢屋の窄殉教記念聖堂
浜脇教会
阿古木で野外ミサ
阿古木古道徒歩巡礼、資料館見学
船上から若松島のキリシタン洞窟見学
- 4/26(金) 旧木ノ口潜伏キリシタン墓所
堂崎天主堂(キリシタン迫害史展示)
福江教会でミサ
船で長崎へ
日本二十六聖人記念館
(レンゾ・デ・ルカ神父様のご案内)
空路羽田へ

日のマリア像を船上から眺めました。
26日は、1790年代、最初に福江島に渡ったキリシタンたちの旧木ノ口墓所を、その末裔の木口さんに案内していただき、堂崎天主堂を回って福江教会でミサ。五島土産のショッピンングも楽しんで、長崎に戻って日本二十六聖人記念館にてレンゾ神父から時代順に整理された所蔵品の詳しい説明を受け、空港にて解散。
ケガも病気もなく、中身の濃い巡礼でした。支えてくださった皆さんとパウラプラインングの中村典子さんに篤く御礼申し上げます。

信仰を守った人々の過酷な人生を肌で感じる

さまざまに偶然に導かれて参加したこの巡礼は、幼児洗礼でカトリックの学校に通い、聖イグナチオ教会での楽しい日々を過ごしてきた私にとって、自分自身の信仰と向き合う3日間となりました。地元教会で、美しい山々に囲まれた阿古木の海辺で、毎日行われたミサに心が洗われました。隠れキリシタンの話は歴史として知っていましたが、この島々の人の手が入っていない豊かな自然とは裏腹に、約250年もの長い間潜伏し、迫害されながら信仰を守り生きてきた人々の過酷な人生を肌で感じる事ができました。そして、最後に訪れた高い公園に並ぶ26聖人のブロンズ像の前で、この時代に死を恐れず信仰を貫いた人々の強さ、信仰心の深さを感じ、自分がこの時代に生きていたらと自分に問いかけ、なぜこのような仕打ちを受けなければならなかったのかと辛い気持ちになりました。この巡礼が皆さまの導きであることを感じ、こ



▲阿古木のガリラヤ湖と言われている海辺でささげられたごミサ

れからの私のキリスト教徒としての人生を考へる節目になりました。この巡礼を企画し支えてくださった高祖神父様をはじめ、多くの皆さまに心から感謝します。(I・S)

下五島巡礼に参加して

迫害や殉教の中を生き延びた人々の信仰を感じ取りたい思いで、憧れの五島へ。

この巡礼の旅に招いてくださった主に感謝！高祖神父様からご研究の成果のお裾分けをいただき、先祖の信仰の歩みを保存する活動を続ける方々のお話を聞き、長崎でレンゾ神父様から日本のキリスト教の歴史について伺った。

青空の下、内海を望む高台でのミサ。オラシヨ^{*}を唱え、肩寄せ合って信仰を守った先人たちを思った。私たちはなんと贅沢な身分に生きていることか。

隠れキリシタンの里の阿古木古道をお仲間に参加して歩いた。樹齢500年の樺の大木が木漏れ日に輝いていた。この山中を往來してたくましく生きた人々を見守ったことだろう。

石積みの潜伏キリシタンの墓が並ぶ墓所。向こうの山にはカトリックに改宗した人々の十字架が並ぶ墓地。それぞれのお墓に眠る人々の信仰に違いはあるのだろうか？

禁教が解かれた後、信者たちが力を合わせて建て



▶新緑にあふれる、隠れキリシタンの里・阿古木古道

た教会の十字架が誇らしくそびえる。私たちは先人から何を学ぶか？大きな宿題をもちかけた気がしている。(K・H)

青・碧・蒼…の地で、信仰生活を振り返る

このたび、下五島への巡礼の旅に参加する機会を得ることができました。

高祖神父様による2回の事前勉強会に参加し、殉教地への巡礼には重いものがあると改めて感じました。現在の信教の自由の礎となられた多くの殉教者、潜伏キリシタンに思いをはせながら、羽田から長崎へ発ちました。

長崎港から海路で渡った下五島の地は、青・碧・蒼…、地も海も空も澄み渡るあおいろでした。かつての殉教地、迫害の地であったとは思えない静けさ、穏やかな中に時がゆっくりと過ぎていくように感じられました。

下五島も少子高齢化に直面し、まちおこしとともに後継者の育成、そして信仰の遺産の継承が課題と見受けました。下五島に限らず、わが国のカトリック教会全体にもつながることと思いました。

このたびの巡礼は、自身の今までの信仰生活をふり返る機会ともなりました。お世話になった多くの皆さまに感謝申し上げます。

巡礼から早ひと月が過ぎ、現地へ入手した、まち



▶青空のもと訪れた江上天主堂

おこしの一端を担うGINの瓶のおいりに、下五島の地を思い浮かべ、グラスを傾けています。(T・H)

*16世紀に伝わったラテン語のオラシオ(oratio/祈禱文)に由来する、潜伏キリシタンが口伝で伝承した祈り

教会行事

4月の主な教会行事をご紹介します。

●初聖体

今年度は25人の子どもたちが初聖体を受けました。1月から始まった初聖体の授業では、神さま、イエスさまのこと、そして、ご聖体はみんなのために来てくださるイエスさまであり、大事なプレゼントであることを勉強しました。ゆるしの秘跡では、してしまった悪いことを告白して心をきれいにしてミサへと臨みました。



▲主の食卓を囲んでのミサ

お説教で柴田潔神父様がホスチアとあんパンを見せ、「どっちがいいですか?」と聞いた場面では緊張が解け、クスクス笑いながらホスチアの方に手をあげる子どもが多く見られました。

今年の初聖体では「主の食卓を囲む」という意向で子どもたちが祭壇を囲んで聖体拝領を行う初の試みがなされ、「マラナタ」が演奏される中、初めての「ご聖体の秘跡にあずかりました。」

ミサ後の祝賀会では、神父様のお話、子どもたちへの証書と記念品の授与、子どもたちによる歌の発表がありました。神さまと子どもたちのパワーによって、雨予報が嘘のように晴れ、桜が舞う中での素晴らしいお式となりました。

初聖体を受けた皆さん、並びに保護者の皆さま、誠にお慶び申し上げます。そして、初聖体を支えてくださった神父様をはじめとする多くの方々へ感謝いたします。

これからも、初聖体を受けた子どもたちに神さまのお恵みがたくさんありますように。(土曜学校元リーダー・きとしー)

●歓送迎会

神父様とシスター ようこそ！
ありがとうございました！

4月28日(土) 11時15分より、ヨセフホールにて歓送迎会が開かれました。協力司祭に中村健三神父、グエン・バン・テー神父、グエン・ミン・トアン神父(8月より広島教区へ異動予定)、セントロ・ロヨラにシスター マルセラ・ロサスを迎え、シスター イベッテ・サンチェスを送りました。立食形式でロールサンドイッチ、トルテリア、ポルボロンなどが並び、5年ぶりに歓談タイムが復活しました。

高祖敏明主任司祭より

シスター イベッテは修道会から任命され聖霊に導かれて、新しい場所へと出かけて行きます。以前、この教会を手伝ってくださったことがあるシスター マルセラは、スペイン語共同体とともに働いていただきます。

着任順に神父様をご紹介します。まず、グエン・バン・テー神父。昨年12月にベトナムで司祭叙階。5年前に来日、その後、ベトナムで4年間

過ごし、日本語の勉強もしています。次はグエン・ミン・トアン神父。2022年9月に当教会で司祭叙階。今年の2月に世界中から家族がベトナムに集まり、初ミサを司式しました。最後に中村健三神父。1970年司祭叙階。大学で聖書を教えていたことがあり、私も授業を受けました。広島県や島根県の教会で司牧され、この3月に六甲教会より着任されました。今年度の教会テーマとともに、力を合わせて頑張っていきたいと思えます

神父様、シスターの挨拶

- ・中村健三神父
「何とか元気です。よろしくお願ひします」
- ・グエン・バン・テー神父
「長い間、日本語を使わなかったのが全部忘れてしまいました(笑)。今、勉強しています。毎日、頑張っています。皆さま、どうぞよろしくお願ひ致します」
- ・グエン・ミン・トアン神父
「上智大学で勉強しながら、

この教会で働いています。よろしくお願ひ致します」

- ・シスター
イベッテ・サンチェス
「約15年間、セントロ・ロヨラでお手伝いしました。本当に感謝しています。皆がイエスさまの枝につながっています。離れても、心はつながっていて、一緒に歩んでいます。ありがとうございました」
- ・シスター
マルセラ・ロサス
「神さまのご計画の中で感謝でいっぱいです。たくさん失敗し、すべてに答えることはできないかもしれませんが、精一杯やりますので皆さん助けてください」



▲右より中村神父、テー神父、トアン神父、シスター イベッテ、シスター マルセラ、高祖神父



現聖堂25周年記念ラジオ開局 教会からオンエア！

現聖堂25周年実行委員会

聖イグナチオ教会の現聖堂25周年を記念し、YouTubeにて、教会のラジオ番組「イグラチオ」が始まりました。現聖堂25周年実行委員会、イグラチオを担当するパーソナリティーにその企画意図や思いをイラスト付きで紹介いただきます。

※イラスト内QRコードから番組にアクセスできます

イグラチオは、未来を見えています。現聖堂25周年を記念に、過去の教会の歴史や知識、現在の活動や教会行事を発信、共有していきたいと思えます。それらはすべて、未来のためです。
すべてのことは、これからの25年後、50年後の未来につながっていると思います。イグラチオが未来へ向かっていく発信基地になったらいいなと思っています。



1

現聖堂 25 周年

NOW ON AIR!

3 未来へ

2 よろこびの共有スペース

今年、聖イグナチオ教会は現在の聖堂に建て替わってから25周年を迎えます。この記念の年をみんなで祝いたい。記念の行事にもたくさんの人に参加してほしい。そういう気持ちから、イグラチオは生まれました。25周年に関する行事のお知らせはもちろん、教会の歴史や現在の活動などについても発信していきたいと思っています。

イグラチオはYouTubeコンテンツなので、いつでもどこでも聴くことができます。普段教会に来ていない方ももちろん、コロナ禍を経て、教会から離れてしまった人にも届いてくれたらと思います。このラジオが再び教会に来るきっかけになったら嬉しいです。

イグラチオをラジオ番組形式にしたのは、皆さまのお話を聞いてみたいと思ったからです。ラジオ番組というのは、ラジオの視聴者である「リスナー」から、お便りやメッセージをもらい、内容を紹介したりします。イグラチオでも、一方的な情報の発信だけではなく、皆さまからのお便りをいただいて、教会であった良いこと、嬉しかったこと、現在の信仰生活や今後やってみたいことなどを聞いて紹介できたらと思います。この教会は信徒数も多く、知らない人も多いですが、同じ気持ちの人がいることが分かったら、素敵だと思いませんか？

イグラチオは、そんな喜びの共有スペースになれたらと思っています。



Family of St. Ignatius

～ベトナム共同体から～

関東地方ベトナム人カトリック青年会

「関東地方ベトナム人カトリック青年会」が10年前に誕生した当時、ベトナム語ミサは月1回でした。2017年、グエン・タン・ニャー神父が聖イグナチオ教会で叙階され、翌年からミサが月2回になり活動も徐々に増えました。現在は約200人の奉仕者がミサ、教会行事、ベトナム人結婚式に携わっています。毎年3月に代表と副代表、7部門(「典礼」「聖歌隊」「イベント計画」「食事担当」「慈

悲の活動担当」「配信チーム」「行事管理」の担当者を選ぶ選挙をニャー神父のもとで行います。

10周年を迎える今年は記念行事として、7月21日に当初から関わってくださった方々を招待して感謝の行事を行い、9月15日～16日に関東地方青年大会を行います。今日まで聖イグナチオ教会で誕生し、育てられ、成長できたことを嬉しく思っています。そして、歴代の主任司祭をはじめ、神父の方々、この教会の信徒の皆さんがいろいろな形で応援してくださることに感謝しています。今後ともどうぞよろしくお祈りいたします。(アン・ベトセンター)

●宣教司牧評議会からのお知らせ●
(5月9日開催)

- 6月9日(日)10時、現聖堂献堂25周年ミサ後に、ザビエル聖堂に新しく設置されるオルガンのお披露目があります。
- 6月23日(日)15時30分より、堅信式がアンドレア・レンボ補佐司教の司式にて行われます。堅信式後、ヨセフホールでお祝いを実施します。
- 10月13日(日)教会祭では12時より野外で現聖堂25周年記念ミサがアンドレア・レンボ補佐司教の司式で行われます。

ミッション 2030 プロジェクトチーム
【つながるプロジェクト】

～いろいろな言語の人たちとミサでつながろう～

ミッション 2030 プロジェクトチームでは、新たな取り組みとして、【つながるプロジェクト】を始めました。聖イグナチオ教会にはいろいろな言語の人々が集っています。神さまに招かれて集う私たちは、ひとつの家族です。そのつながりを深めるために、いろいろな言語のミサにあずかりませんか。

【つながるプロジェクト】は各言語のミサへの参加をサポートします。

7月は主日のスペイン語ミサにあずかります。
日 時：7月14日(日)13時30分のスペイン語ミサ

申込方法：以下のURLやQRコード、または事務室横の申込書をご利用ください

*いろいろな言語の人と一緒にミサにあずかりたいけれど、勇気がない…

*いろいろな言語の人と触れあいたいけれど、きっかけがない…

そんな方はぜひ【つながるプロジェクト】にご参加ください。

詳細はポスター・チラシでご確認ください
<https://forms.gle/MHE7R9uStbel7gfs8>



●真和会講演会●

日 時：6月26日(水) 18:45～20:15

場 所：ヨセフホール

講 師：黒田晋也(二期会オペレッタ・ミュージカル研究会代表、東日本成人矯正医療センター篤志面接員会長)
～講演とミニコンサート～
「ブラザー・エルナンデスに導かれ、医療少年院と共に33年～子供たちの更生と音楽」

●2024年度 年次活動報告会●

日 時：6月15日(土) 13:00～14:30

場 所：ヨセフホール(先着順)

〈プログラム〉

*高祖敏明主任司祭の挨拶

*助任司祭方の挨拶

*教会活動の報告

2023年度活動報告・2024年度活動計画・会計報告

- 日本語・英語・スペイン語・ベトナム語のレジュメを用意します。
- YouTube 配信を予定しています。
- 事前のお問い合わせは信徒評議員まで。
- 私たちの教会について知る機会です。ぜひご参加ください。

●幼児洗礼式●

7歳未満のお子様を対象とした幼児洗礼式を行います。事前の準備会があります。詳細は教会事務室にお聞きください。

7月21日(日) 10月20日(日) 10時ミサにて

●新型コロナウイルス感染症対策●

5月8日付で東京大司教区から新型コロナウイルス感染症対策について、5月19日をもってこれまでの指針を全て廃止し、2020年1月以前の教会活動と同じ状態に戻すとのお知らせが出ました。

聖イグナチオ教会では2024年『マジス』4月号でお知らせした感染症対策を継続します。ご理解、ご協力をお願いします。

●財務報告●

- 「四旬節愛の献金」689,386円はカリタス・ジャパンを通して日本・海外の多くの人々のいのちを守るために使われます。
- 4月3日に発生した台湾地震の被災地、カトリック花蓮教区へ救援募金を含め1,000,000円を送金しました。
- 5月5日(日)「世界広報の日の献金」1,239,248円は雑誌、インターネット、テレビなどの広報媒体を用いた福音宣教に使われます。

【訂正】2024年5月号5ページにて下記の通り誤りがありました。
お詫びして訂正いたします。
(誤) 越智道宣
(正) 越智通宣

6月の典礼と行事

2 (日)	キリストの聖体の祭日	堅信準備会③ 11:15
4 (火)		パイプオルガン奉獻25周年記念「オルガンと祈り」 19:00 主聖堂
5 (水)		堅信準備会(平日③) 18:45 『社会問題とカトリック教会の考え 2024年度連続セミナー』 シノドスの教会-皆が参加し、ともに歩んでみよう- 18:30 ヨセフホール ともに歩む教会の顔(2) 第1会期に参加して -父と子と聖霊によって呼び集められ、遣わされる- 講師：菊地 功 東京教区大司教 / 第16回シノドス総会メンバー
6 (木)		現聖堂献堂記念日(25周年)
7 (金)	イエスのみ心の祭日 初金曜日	祈りの集い 19:00
9 (日)	年間第10主日	現聖堂献堂25周年ミサ 堅信準備会④ 11:15
12 (水)		堅信準備会(平日④) 18:45 傾聴ルーム 11:15 ~ 15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00ミサ後
15 (土)		年次報告会 13:00 ヨセフホール 新受洗者と代父母のためのフォローアップ講座 15:15 ヨセフホール
16 (日)	年間第11主日	日曜サロン 11:00~12:30 ヨセフホール
19 (水)		クリプタに安置され6月に命日を迎える方々のためのミサ 12:00 『社会問題とカトリック教会の考え 2024年度連続セミナー』 シノドスの教会-皆が参加し、ともに歩んでみよう- 18:30 ヨセフホール ともに歩む教会の顔(3) -教会の旅の主人公である貧しい人々- 講師：アイダル・ホアン神父 上智大学神学部教授
23 (日)	年間第12主日	教会案内ツアー ①10:30 ②11:00 受付 9:30~ ミッション2030 小さな私たちの分かち合い① 13:30 ヨセフホール(延期) 堅信式 15:30 主聖堂 聖ペトロ使徒座への献金
24 (月)	洗礼者聖ヨハネの誕生の祭日	
26 (水)		傾聴ルーム 11:15~15:00 ヨセフホール 水曜ティーサロン 12:00ミサ後 真和会講演会 18:45 ヨセフホール
27 (木)		ヤングオールド映画会 「十戒 後編」 13:00 ヨセフホール
29 (土)	聖ペトロ聖パウロ使徒の祭日	
30 (日)	年間第13主日	日曜サロン 11:00~12:30 ヨセフホール

予定が変更になる場合がありますのでご了承ください。
最新情報は聖イグナチオ教会ホームページでご確認ください。



高祖敏明神父
「旭日重光章」を受章

上智学院元理事長の高祖敏明名誉教授は、令和6年春の叙勲にて「旭日重光章」を受章しました。

旭日重光章は、文化やスポーツ、科学技術の振興、環境保全など、社会のさまざまな分野における功績の内容に着目し、顕著な功績を挙げた個人に日本政府より授与されます。

今回の叙勲は、多年にわたり上智学院理事長として、また聖心女子大学学長、文部科学省中央教育審議会専門委員などの要職を歴任してリーダーシップを発揮し、私立学校の発展と振興に尽力したことが評価されたものです。(上智大学ホームページから引用)

主任司祭：高祖 敏明

助任司祭：ボニー・ジェームス
グエン・タン・ニャー
サトルニノ・オチョア
柴田 潔

協力司祭：ハビエル・ガラルダ
中村 健三
グエン・バン・テー
関根 悦雄

シスター：マルセラ・ロサス
(セントロ・ロヨラ)
フロール・フロレーセ
(ジョン・デ・ブリット イングリッシュセンター)

ミサ参加方法はホームページ、教会事務室で確認してください。

ミサの時間 Mass

【平日 Weekday】主聖堂 Main Chapel
7:00/12:00/18:00

【土、日曜日 Saturday & Sunday】主聖堂 Main Chapel
土曜 18:00/19:30 (Viêt Nam)

日曜 7:00/8:30/10:00/18:00
12:00 (English) /13:30 (Español) /
15:00 (Viêt Nam)

【月の第1日曜日 1st Sunday】

Our Lady's Chapel
12:30 (Português) /16:00 (Polski)

【月の第2第4日曜日 2nd & 4th Sunday】

Our Lady's Chapel 16:30 (Indonesian)

『マジス』へのご意見ご要望などのお便りは事務室までお寄せください。

カトリック麹町教会 (聖イグナチオ教会)

〒102 - 0083
千代田区麹町 6 - 5 - 1
TEL 03 - 3263 - 4584
FAX 03 - 3263 - 4585
<http://www.ignatius.gr.jp>



Linktree (リンクツリー)
リンクツリー (linktree) とは多数のリンクをまとめて表示しているツールのことです。このQRコードを読み取ると教会ホームページ、教会ガイド、Twitter、Facebook、Instagram、YouTubeへアクセスできます。